

ケミゾール2316 使用説明書

ケミゾール2316(略称:CS2316)は、光学素子の洗浄、及び素子再生用の蒸着膜はく離に使用します。

特徴

- ・一般硝材(白板・BK7・石英等)へ付着した汚れ、ヤケ(保管後の水ヤケ、紙ヤケ等)・指紋、研磨剤(酸化セリウム)など洗浄性に優れています。
- ・光学素子(一般硝材)の蒸着はく離や蒸着治具の付着物を洗浄する事も可能です。
- ・水に容易に溶解し、リンス性に優れ、泡立ちもなく、作業性に非常に優れています。

組成及び性状

ケミゾール2316は、水酸化カリウムを主体とした強アルカリ性洗浄剤、兼はく離剤です。

外 観：無色～淡黄色透明液体

比 重：1.28(at 25℃)

p H：14(原液)

引火点：なし

使用方法

【紙ヤケ、及び研磨剤の洗浄】

工 程	洗浄CS2316(1～2段)	⇒水洗(3段以上)	⇒水置換⇒乾燥
濃 度	50%～原液	—	
温 度	60℃ or 25～60℃	15～25℃	又は、水切り
時 間	30分 or 5～10分	各1～5分	⇒スピン乾燥
US	無 or 28～40KHz	28～40KHz	

※処理後に一時保管がある場合の工程です。

蒸着前工程の場合、水洗間に、CSクリーン(0.5～1.5%)を加え、洗浄処理します。

【蒸着膜のはく離(素子再生、又は金属治具・設備部品の洗浄)】

工 程	はく離CS2316(1段)	⇒水洗(3段)	⇒水置換⇒乾燥
濃 度	原液	—	
温 度	45～80℃	15～25℃	又は、熱風乾燥
時 間	10分～8時間	3～5分	
US	—	Dip or 28～40KHz	

〔試験実績〕 光学フィルターの膜はく離

白板：AR 30層以上 処理温度60～65℃ はく離時間 浸漬処理16時間+超音波処理10分間

CS2316浸漬すると蒸着膜が膨潤します。その後の水洗・超音波浸漬で膜が除去されます。

真空蒸着設備ステンレス部品の膜洗浄は、多層膜の為浸漬後の水洗時にブラッシングが必要です。

上記条件で洗浄、若しくは膜はく離が出来ない場合、弊社へ御相談ください。

<共有>

- ・タンクの材質は、ステンレス製(SUS304又は316)お奨めします。
- ・強アルカリ性であり、アルミニウムや真鍮を腐食します。

[管理方法]

CS2316は比重(25℃)を測定して濃度を管理します。手順は次のとおりです

CS2316濃度	比重(25℃) 標準値	比重(25℃) 推奨管理範囲
原液	1.275	1.254~1.300

算出式 CS2316濃度 B = 428 × A — 446 (A :比重、 B:CS2316濃度)

[補給の目安]

通常の液面不足の場合、ケミゾール2316(原液)を液面レベルまで補給します。

管理範囲より比重が高い場合、処理液量に対し7%水を補給すると、濃度が約10%低下します。

管理範囲より比重が低い場合、CS2316原液を補給します。

[定期清掃]

定期的にタンク内のはく離した樹脂やマルチコート等を、フィルターやステンレス製の網等で回収します。

[更新]

補給後、濃度が管理範囲を外れる場合は更新してください。

必要に応じて管理仕様書を参照ください。

適用を受ける主な法規制 (詳細 SDS 参照)

毒物及び劇物取締法

医薬用外劇物 : 水酸化カリウム26%含有

水質汚濁防止法(排水となった場合)

pH、BOD、COD、n-ヘキサン抽出物質、浮遊物質(SS)

尚、処理液の廃棄処置については廃棄物専門業者にご相談ください。

注意事項

ケミゾール2316は、工業薬品です。

使用前に安全データシート(SDS)を入手し、すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

荷姿

20kg アトロン缶、20kg UN ポリ容器

以上